

2018年3月17日

平成29年度 資源・環境関連材料講演・討論会 開催報告

試験法主査 阪本尚孝

- ◎日時 平成29年10月27日(金) 13:00～19:00(見学会参加の場合は10:30～)
- ◎メインテーマ「環境的視点で考える“ものづくり”」
- ◎主催 公益社団法人 日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
- ◎共催 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
- ◎協賛 日本化学会、応用物理学会、電気化学会、日本ファインセラミックス協会  
日本粘土学会、資源・素材学会、無機マテリアル学会  
産業技術総合研究所東北センターClayteam
- ◎場所 東京都立産業技術研究センター 本部 イノベーションハブ
- 10:30～12:00 【見学会】(希望者のみ)東京都立産業技術研究センター本部
- 12:00～13:00 昼休み
- 13:00～13:05 開会の辞 日本セラミックス協会資源・環境関連材料部会長 安盛敦雄 様
- 13:05～13:10 挨拶 東京都立産業技術研究センター 理事 長谷川裕夫 様
- 13:10～13:50 <講演①>「リサイクル政策の現状と課題」  
(経済産業省 産業技術環境局リサイクル推進課 近藤真 様)
- 13:50～14:30 <講演②>「LCA(ライフサイクルアセスメント)視点によるものづくり  
～燃料電池に使用する希少金属と環境影響の見える化～」  
(東京理科大学 教授 堂脇清志 様)
- 14:30～14:45 休憩
- 14:45～15:25 <講演③>「資源を有効に活用する事業の現状と課題」  
(㈱ノリタケリサイクルセンター 社長 久野元康 様)
- 15:25～15:35 ポスター発表方法について (試験法主査 阪本尚孝)
- 15:35～16:05 ポスター発表ショートプレゼンテーション(@2min)
- 16:05～17:15 ポスター発表 (10件)
- 17:30～19:00 意見交換会(技術交流会)

◎参加費(講演予稿集、消費税込み)

日本セラミックス協会、協賛学協会会員	5,000円
非会員	8,000円
学生	2,000円
意見交換会	3,000円

◎定員 50名(講師3名含む)

◎特徴

- ・マクロなテーマを設定し、講演会講師はバランスを重視して「産」「学」「官」より1名ずつ選定。
- ・ポスター発表形式の討論会を併催。
- ・発表担当者の若手研究者(自己申告)の参加費無料。

- ・ポスター発表の概要原稿は、graphic abstract 形式。概要集は4色印刷製本。
- ・役員を選考による優秀ポスター賞(1件)を表彰(信州大学・西口朋 様)。対象者には賞状と意見交換会招待。
- ・日本セラミックス協会運営委員会の「協会活動の活性化のための取り組み」向け予算措置採択。
- ・参加者数50名, ポスター発表件数 10 件

◎開催結果

専門性の弱い総論的なテーマでの企画であったが、50名の参加を得て、盛況な会となった。ただし、昨年度に比べ、企業からの参加者が大きく減少しており、今後の検討事項といえる。

アンケートの結果からは、概ね好意的な評価をいただいている様子が伺えた。講演内容としては、わかりやすいノリタケ・久野様の評価が高いが、3名の講師いずれも大差ない。やや難解な講演としては、学生は政策関連、社会人は LCA 関連を挙げる傾向がある。この点は、普段聞き慣れないコンテンツという感覚とも推定でき、そういった内容に触れてもらうことを目的のひとつとした今回の企画の狙い通りと認識している。なお、イベント自体の改善提案については、講演会、討論会ともにすべてバラバラの意見であり、多数の一致した内容はなかった。今後、討論会をより盛況にしていく取り組みが必要と思われる。

【アンケート結果】

参加者:	企業	10人
	大学	6人
	公設研	9人
	学生	23人
	その他	2人
	計	50人
	有効回答数	34/50

昨年度実績	
参加者:	企業 28人
	大学 9人
	公設研 7人
	学生 6人
	その他 0人

(1)今回の講演・討論会を知った手段

・先生の紹介	19人
・チラシ	1人
・メルマガ	2人
・HP	3人
・職場内情報	4人

	(2)面白かった講演	(3)難しかった講演
①「リサイクル政策の現状と課題」	11	13
②「LCA(ライフサイクルアセスメント)視点によるものづくり」	16	10
③「資源を有効に活用する事業の現状と課題」	18	4
④特になし	1	8

(4)討論会の活性化に必要なものは？

- ・質疑応答の時間を増やす
- ・告知を工夫して参加人数を多くする
- ・企業上司が若手に出張させたいと思う企画

- ・学生が幅広く勉強できる場の提供
- ・休憩中に参加した人が休めるような、集まって話をできるような空間があれば、より交流が深まると思う。
- ・セラミックス以外の分野の方も集まりやすいテーマ設定が必要だと思います。
- ・ポスターの投稿数をより増やすなど規模を大きくする。
- ・他の部会との合同討論会の開催
- ・学生同士の積極的な討論

(5)その他、意見、感想など

- ・大変貴重なお話を伺うことができ、満足しております。このような機会をいただき、本当に有り難く思っております。ありがとうございました。
- ・講演会について、1人当りの発表時間を短縮して、もっと多くの発表を聞きたいと思いました。普段の講義、学会ではなかなか聞けないような話だったので、大変興味深かった。
- ・講演が参加者にとって難しい内容であるので、講演時間がもう少し長くてもよいのではないかと思います。
- ・「後の席からスライドが見えない」と「後で見返すことができる」という点で、スライドをフルカラーで印刷してくださったのは、とても便利でした。
- ・若い人が多い点が良いが、逆に企業からの参加を増やせると良い。
- ・ポスターの時、各ポスター同士の幅をとってもらえた方が質問など話しやすかったと思いました。
- ・産官学、それぞれ異なる立場からの発表内容で充実していました。

以 上